

# 1年 単元名「 權練り体験 」(3時間)

## 1 単元設定の理由

大島中学校は全校生徒37名の小規模校である。震災で大きな被害を受け復興途中の中、生徒はどの活動や学習においても、積極的かつ真剣に取り組んでいる。

大島中学校では、大島ならではの地域資源を活用した活動を以前から行っている。權練りを体験する活動を通して、ふるさとの良さを知り、体験学習で身につけた知識や技術を生活に生かす力を育成することができると考え、本単元を設定した。

## 2 単元目標

- ・ ふるさとを見つめ直し、ふるさとの良さを再発見する機会とする。
- ・ 權練りを体験する活動を通して、物事ができたときの喜びを味わわせる、
- ・ ふるさとの良さを教えてくれる地域の様々な人々とのふれあいを通して、地域との連携を深める。

## 3 単元の評価基準

- ・ 權練り体験学習に、楽しく積極的に参加しているか。
- ・ 活動を通して、權練りや海に関する知識や技術を身につけることができたか。
- ・ 活動を通して、ふるさとの良さを知り、感じているか。
- ・ 体験の中から、「海に学び、海と生きる力」が育成されているか。

## 4 単元の指導計画

時	学習活動	指導上の留意点
1	1 移動 ・長崎漁港へ出発（徒歩で移動） 2 漁港周辺散策 ・長崎漁港到着後、周辺の散策、見学	・1時間目終了後、学級全体で整列して漁港に、徒歩で向かう。
2	3 權練り体験学習 (1) 開会式 あいさつ 講師の方の紹介 諸注意等 (2) 体験開始（長崎漁港にて） 權練り ・3つの班を作り、各班毎の權練りの体験（緊急用を含め、船は4台） 箱めがねを使っての海中の観察 ・箱めがねと鉤を使って、海藻や貝類の観察を行う。	・講師の紹介のあと、講師の先生に今回の權練りの行い方について簡単な説明をしてもらう。  ・グループで船に乗り込み、講師の先生に1人ずつ權練りの仕方を教わりながら、權練りの体験をさせる。  ・權練りと同時に箱めがねを使っての海中の観察も行う。

3	<p>(3) 閉会式</p> <p>感想発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 權練り体験の感想を各班代表が発表</li> </ul> <p>講師の方から</p> <p>御礼のあいさつ</p> <p>4 移動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 長崎漁港出発</li> <li>・ 学校到着</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各班代表が、本日の權練りの感想を発表する。</li> <li>・ 学校に帰港後、個人毎に学習のまとめをさせる。</li> </ul>
<p>外部連携 / 教材等</p> <p>協力団体 大島海友会，地域漁業関係者 等</p>		